（資料４）

独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構平成１８年度業務実績項目別評価表（案）

中期計画の各項目	評価項目 （平成１８年度計画の各項目）	~~指標~~評価の視点	実績 （記載事項）	自己評価	分科会評価	評価理由（コメント）
１　国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	１　国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	予算が効果的に活用されているかどうかという観点から次のような視点に立って評価を行う。				
（１）研究者の採用等の研究開発の推進 ①学際的な研究プロジェクトを展開し、革新的な研究を実施	（１）研究活動 ①銅谷・柳田の２研究ユニットの研究評価に着手（平成１８年度末）。 　外部の評価委員を選任し、それぞれに評価委員会を設置する。 　評価対象研究ユニットは研究成果の報告書を作成し、これに基づき、評価委員会が研究評価を行う。 （具体的な評価は平成１９年度。）	~~・先行的研究事業の進捗状況。~~ ・研究評価のための委員会の設置準備状況。				
②科学分野間の相互作用を促すことのできる研究領域において研究組織を創設。	②霊長類脳研究開始のための調査を行う。 　ワークショップを開催し、その後、機構内部のプロジェクトグループを拡大し、外部の研究者を加える。 　平成１８年度後半には国際ワークショップを開催する。 　また、数理生物学分野においても２つのワークショップを開催する。最初は国内中心、２つめは国際ワークショップを開催する。	・霊長類脳研究、数理生物学、その他のワークショップやセミナー等の実施状況。				

中期計画の各項目	評価項目 （平成１８年度計画の各項目）	指標評価の視点	実績 （記載事項）	自己 評価	分科会 評価	評価理由（コメント）
③内外の研究者の招致	③引き続き代表研究者選定を進める。 　ポスドクと技術員についても必要な質及び量を確保する。	・~~若手研究者の採用状況~~。 ・~~外国人~~研究者（主任研究者、一般の研究員、ポスドク、技術員）の確保~~招聘~~状況（特に外国人）。				
④研究の方向性に関する国際アドバイザリーグループの設置（平成１９年度～）。	――――――	・国際アドバイザリーグループの設置準備状況。	――――――			
（２）研究成果の普及 ①国際的な学術誌への発表を奨励。 ②研究活動に関する年次報告書の作成。 ③各種メディア、講演会等を通じて一般社会に成果を紹介。	（２）研究成果の普及 ①ＩＲＰ（大学院大学先行研究プロジェクト）の活動をとりまとめた年次報告書を作成する。 ②様々なセミナーや講演の開催、科学雑誌への論文投稿、国際学会参加を引き続き行う。 　また、一般市民や社会に対する広報活動を強化すべく、ニュースレターを発刊するとともにホームページの改善等を図る。	・国際的学術誌への発表状況。 ・年次報告書の作成~~状況~~及び配布状況。 ・メディア、講演会等を通じての成果発表の~~状況~~取組み。 ・ニュースレターの発行状況。				
④知的財産保護のための管理体制の整備。		・知的財産保護管理体制の整備~~状況~~への具体的取組み。				
⑤国際ワークショップやセミナーの継続実施。	⑤「１（２）研究成果の普及」の②のとおり。	~~・国際ワークショップやセミナーの実施状況。~~ ――――――	――――――			
（３）研究者養成活動 ①連携大学院制度を活用する等で学生の受入れ指導。	（３）研究者養成活動 ①様々な研究機関及び大学と、連携大学院制度の活用などの協力プログラムの実施について積極的に推進する。	・連携大学院制度、共同研究プロジェクト等による学生の受入れ~~状況~~の取組み。				

中期計画の各項目	評価項目 （平成１８年度計画の各項目）	指標評価の視点	実績 （記載事項）	自己 評価	分科会 評価	評価理由（コメント）
②大学院レベルの研究者養成プログラム開始準備への取組み。	②研究計画策定や教育プログラムに関連した内容のワークショップを開催する。	~~・大学院レベルの研究者養成プログラム準備状況。~~ ・ワークショップやセミナーの開催状況（参加者の意見、外国人比率等）。				
（４）大学院大学設置準備活動 ①大学院大学の教育研究分野・組織体制及び教員の人事制度についての考え方の明確化。	（４）大学院大学設置準備活動 ①科学技術分野の大学院教育に関連する会合を開催する。 　また、大学院大学設置準備活動のための特別アドバイザーを任命し、国際的な活動について責任を負う。 ②将来の科学的活動の計画づくりについて支援を行う科学顧問グループの創設の準備。	~~・教育研究分野・組織体制及び教員の人事制度の確立への取組み状況。~~ ・科学技術分野の大学院教育に関連する会合の開催。 ・大学院大学設置準備活動のための特別アドバイザーの任命。 ・科学顧問グループの創設準備状況。 ・理事長の実務的な補佐体制の強化。				
②大学院大学の学長及び主な役職員の候補者に関する調査の開始（平成１９年度～）。	――――――	――――――	――――――			

中期計画の各項目	評価項目 （平成１８年度計画の各項目）	指標評価の視点	実績 （記載事項）	自己 評価	分科会 評価	評価理由（コメント）
（５）施設整備 ①恩納村における新施設設計計画の監督のための研究者からなる委員会を組織。 ②プロジェクトマネージャー等の支援を得ながら施設整備を実施。	（５）施設整備 ①実施設計作業を進める。 ②速やかな開発許可の取得。 ③正式な入札手続きを実施して工事契約を行い、今年度後半での造成工事着手を目指す。 ④造成工事の着手前に、建設予定地内の民有地の買収を完了する。	~~・新施設の準備状況。~~ ~~・基本設計の策定の状況。~~ ・実施設計作業の進捗。 ・環境影響評価の完了。 ・開発許可の取得。 ・造成工事の進捗。 ・建設予定地内の民有地買収及び村からの現物出資の進捗。				
２　業務運営の効率化に関する事項	２　業務運営の効率化に関する事項					
（１）組織運営及び財務管理 ①管理運営業務の効率化	（１）管理運営及び財務 ①理事長の強力なリーダーシップの下で内閣府と緊密に連携し、個別のプロジェクトを企画推進する。 ②研究活動の活発化のためにＣＯＰＩ（代表研究者委員会）の役割を強化する。 ③ＭＡＣＯ（業務運営委員会）についても、法人運営の諸課題に重要な機能を果たすため、引き続き開催する。	~~・効率化への取組み状況。~~ ・内閣府との緊密な連絡調整体制の強化及び維持。 ・ＣＯＰＩ（代表研究者委員会）の開催状況と研究活動の活性化への具体的貢献。 ・ＭＡＣＯ（業務運営委員会）の開催状況と法人運営事項への具体的貢献。 ・研究部門と管理部門の意見交換の機会の確保状況。				

中期計画の各項目	評価項目 （平成１８年度計画の各項目）	指標評価の視点	実績 （記載事項）	自己 評価	分科会 評価	評価理由（コメント）
②財務管理の仕組みの構築や各種規則の整備。						
	④機構設立時に暫定的に定められた諸手続を見直す。	~~・財務管理の仕組みや各種規則の整備状況。~~ ・他の教育研究機関の規則類を調査し、必要に応じ、現状の改善を目的とした諸手続の見直し。				
	⑤法人運営の重要分野における本格的な総合業務システムの導入により能率と実効性の向上を期する。	・総合業務システムの導入による事務の改善状況。				
		・高いラスパイレス指数にも配慮した人件費の見直し。				
		・総合科学技術会議が示した「公的研究費の不正使用等の防止に関する取組について」（共通的な指針）（平成１８年８月）等に沿った、公的研究費不正使用等の防止の体制、ルール整備ルールの明確化等の取組状況。				
		・既存施設の活用状況。（施設について、目的に沿った利用を行っているか。）				
③大学院大学の教員の給与体系の検討。	――――――――	――――――――				
④外部資金の獲得。		・外部資金、競争的資金の申請数及び獲得~~状況~~件数。				
⑤事務職員の専門能力を高めるための措置。		・研修等、事務職員の専門能力向上のための具体的取組み~~、研修の実施状況~~。				
	（２）運営委員会関連 ①理事長は、運営委員会議長との密接な連携を図る。	・運営委員会議長との日常的な意見交換の継続。				

中期計画の各項目	評価項目 （平成１８年度計画の各項目）	指標評価の視点	実績 （記載事項）	自己 評価	分科会 評価	評価理由（コメント）
	②平成１８年度においては、少なくとも２回運営委員会を開催する。	・運営委員会開催に向けての適切な準備。				
（２）活動評価 ①先行的研究事業の研究評価を行う特別委員会を設置（平成１８年度～）。	「（１）①研究活動」のとおり	・年次報告書の作成。				
３　予算、収支計画及び資金計画 別紙のとおり。	３　予算、収支計画及び資金計画 別紙のとおり。	~~・自己収入の確保状況。~~ ~~・一般管理費の節減状況。~~ ~~・業務経費の節減状況。~~ ・予算、収支計画、資金計画に対する適切な執行状況。 ・国における取組み等を踏まえた、各法人における一般競争入札の範囲の拡大、契約内容の見直し、契約に係る情報公開等についての取組状況。				
４　短期借入金の限度額 上限１０億円。		・短期借入金の~~借入~~発生状況。（理由及び借入額、借入時期の適正性。）				
５　重要な財産の処分等に関する計画。 計画なし。			――――――――――			

中期計画の各項目	評価項目 （平成１８年度計画の各項目）	指標評価の視点	実績 （記載事項）	自己 評価	分科会 評価	評価理由（コメント）
６　剰余金の使途 研究事業の充実及び研究環境の整備に充てる。		・剰余金の~~使用等の状況~~発生理由及びその使途。				
７　その他内閣府で定める業務運営に関する事項	７　その他内閣府で定める業務運営に関する事項					
（１）施設・設備に関する計画 中期目標期間末に恩納村の建設予定地で施設の供用を開始することを目指して、施設整備を計画的に進める。	（１）施設・設備に関する計画 「５．施設整備」のとおり。	~~・沖縄県恩納村の旧白雲荘改修及び建設予定地造成工事の実施状況。~~ ・施設整備の進捗状況。				
（２）人事に関する計画 ①業務運営の効率化により、常勤職員の増加抑制。 ②柔軟で機動的な人員配置。 ③任期制職員を措置。		・常勤職員数~~の抑制状況~~及び任期制職員、非常勤職員、派遣職員の任用状況等。				
（３）積立金の処分に関する事項 計画なし。	（３）積立金の処分に関する事項 計画なし。					